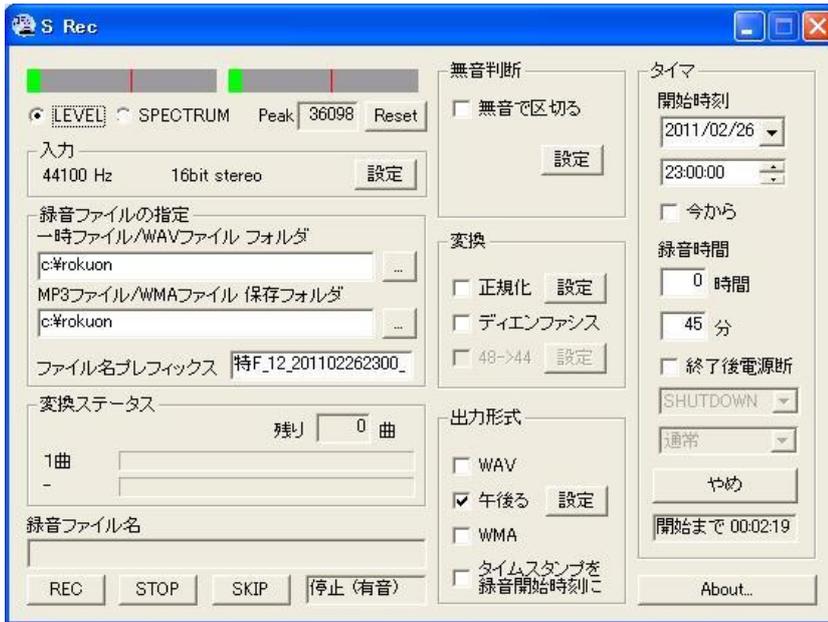


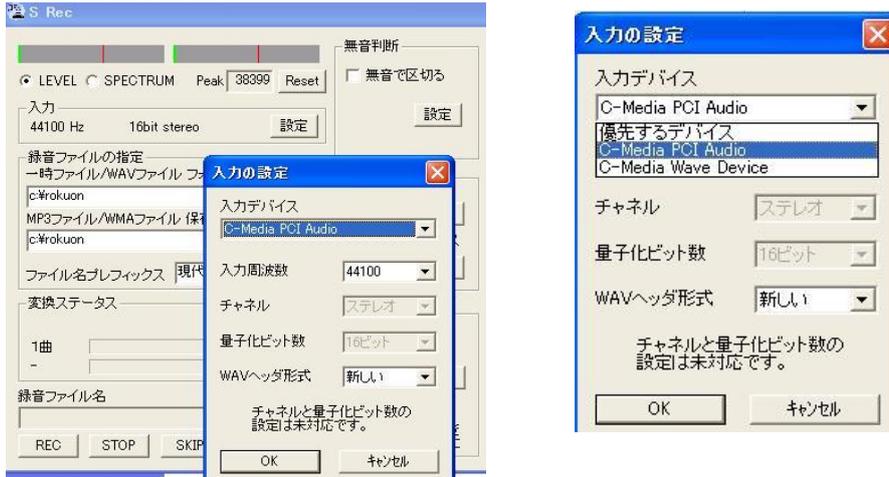
「S Rec」の設定例



設定例

項目	RRT運用時設定(もしわからなかったらこんな感じで)	録音テストしたい時は
LEVEL	そうですね、ピークの赤い線が8~9割ぐらい行くように音源のボリュームを調整しましょう。自分のMP3プレーヤーで再生して十分な音量が出せれば良いだけです、実験してみてください。最悪、MP3GAINとかのツールで音量は上げられますけどね。	→
入力	入力デバイスを選びます。たぶん優先するデバイスのままでもOKかもしれませんが。正しく接続されていれば、LEVELがピンピン振れてる筈ですが。 もし、テレビとラジオの音源を録音したい場合は、ここで、どちらかのデバイスを選択します。下記「入力ボタンを押した時の図」を参照ください。	→
録音ファイル指定		
一時ファイル/WAVファイルフォルダ	RRTの予約時に自動的に移送されます	存在するフォルダを指定 たとえば c:¥ だったら、C ドライブ下に作成される
MP3ファイル/WMAファイル保存フォルダ	RRTの予約時に自動的に移送されます	存在するフォルダを指定 たとえば c:¥ だったら、C ドライブ下に作成される
ファイル名プレフィックス	RRTの予約時に自動的に移送されます	たとえば test
変換ステータス	-	-
録音ファイル名	-	-
REC/STOP/SKIP	-	このボタンの操作で、録音開始、終了ができます。
無音判断	-	-
変換	-	-
出力形式	MP3変換しますので、「午後る」にマークして、設定ボタン押下で、ビットレートは、64kbpsに。	→
タイマ		
開始時刻	RRTの予約時に自動的に移送されます	
今から	-	ここをクリックして、録音時間をたとえば1分にして「セット！」すると、1分間録音できます
録音時間	RRTの予約時に自動的に移送されます	
終了後電源断	-	
セット!/やめ	-	

入力ボタンを押した時の図



午後のの設定ボタンの図

